

研究課題番号	3MF-2204
研究課題名	海面処分場安定化と残留キレート分解に関する研究
研究実施期間	令和4年度～令和6年度
研究機関名	特定非営利活動法人環境技術支援ネットワーク
研究代表者名	樋口 壯太郎

1. 委員の指摘及び提言概要

海面処分場安定化のためにエアリフトポンプ適用等により中性化・安定化を進めること、そのための揚水ピットの配置やポンプ規模を設計すること、キレート由来のCOD・窒素成分の分離・分解技術を開発することを目指して研究が行われている。全体的には着実な実験成果をあげており、サブテーマ2：キレート由来成分に対する電気分解技術の開発については、順調な進行と有効性を明らかにしたことが評価された。これに対し、サブテーマ1：エアリフトポンプによる中性化・安定化課題に関しては、部分的な安定化の可能性にとどまる旨の指摘があり、さらに定量的な成果の蓄積による評価の必要性が指摘された。海面埋め立て処分を抜本的に変えていく本提案技術の可能性を具体的、定量的に示す必要があり、それに基づき望ましい廃棄物管理システムの将来像を描くとともに、政策への反映を図る必要がある。

2. 採点結果

評価ランク：A